

学びの場がいっぱい！あらかわの教育

区では、子どもたちがさまざまな学びを通して自己のよさを理解し、自らの人生を切り拓けるよう、豊かな学びの場を設けております。本年度の子どもたちの学びの様子をご紹介します。

ICT教育の充実

タブレットPCを活用した日常的な取り組み

タブレットPCの活用

平成26年度に全国に先駆けて、区立小・中学校にタブレットPCを活用時における一人1台体制で導入し、さまざまな場面で活用しています。体育の授業では、児童生徒がお互いに動きを撮影し、グループで話し合う中で自分の課題に気づき、技能の向上を図っています。また、小・中学校ともに最もタブレットPCを活用する総合的な学習の時間では、興味・関心のある事柄を調べ、まとめ、自分の考えを発表する学習を各校で実施しています。

プログラミング教育

新学習指導要領では、コンピュータ等を活用した学習活動の充実や、コンピュータでの文字入力等の習得、プログラミング的思考の育成等の情報活用能力の育成が示されています。各小学校においては、校内や荒川区教育研究会で、プログラミング学習について研究しています。授業では物事の手順や行程をフローチャートを活用して考える学習や、タブレットPCを活用しロボットに指示する学習に取り組んでいます。

プログラミング教育の様子



荒川区立図書館・学校図書館等の活用

荒川区図書館を使った調べる学習コンクール

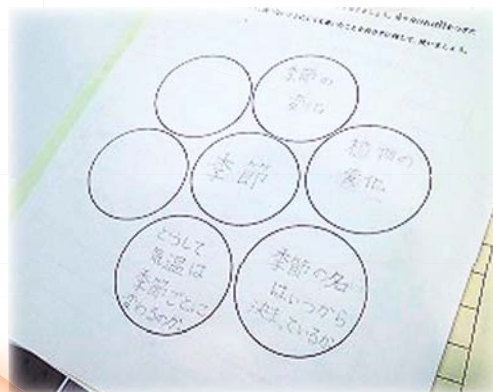
小・中学校では、図書館資料をはじめさまざまな情報を活用した調べる学習を通じて、自ら考え、判断し、表現できる力を育成することを目的とした「荒川区図書館を使った調べる学習コンクール」を実施しています。作品は9月に募集しました。

図書館を使った調べる学習チャレンジ講座

募集に先立ち、7月には、ゆいの森あらかわや尾久図書館において、学校司書や図書館司書をはじめとするスタッフと一緒に、「図書館を使った調べる学習チャレンジ講座」を開催しました。

講座は、毎年応募者が多く、当日の会場は、抽選に当たった児童や保護者の学ぶ意欲で、熱気に満ち溢れていました。司書の皆さんの丁寧な対応やアドバイスで、子どもたちは、調べ方やまとめ方をしっかりと学ぶことができました。

今年で7回目を迎え、子どもたちの調べ方やまとめ方が上手になり、優れた作品が多く出展されました。そのすばらしい作品をゆいの森あらかわで見られるよう、準備を進めています。



キャリア教育の充実

小学校では職場体験やボランティア活動を行う社会体験教室、中学校では5日間の職場体験を行う勤労留学や多様な職業の方をお招きし職業や生き方を考える校内ハローワーク等、豊かな体験活動の機会を設けながら、キャリア教育を推進しています。



▲勤労留学(職場体験)における飲食店での体験学習

社会を体験し、未来を見つめる

子どもたちは学校での学習や体験等を通じて、働くことの意義を考えるとともに、自己の将来の夢や希望を見つめ、自らの進路を主体的に選択するように成長します。



このような各学校の取り組みにより、生徒一人ひとりの社会的・職業的自立に必要な基盤となる能力や態度の育成に功績をあげ、キャリア教育の充実発展へ貢献したことから、平成30年1月に荒川区教育委員会は文部科学大臣から表彰を受けました。

地域防災を担う人材の育成

防災部



区では、平成27年度に「助けられる人から助ける人へ」を合言葉に、防災活動のみならず、地域活動に貢献できる人材を育成するため、全区立中学校に防災部を設立しました。防災部員は地域の防災訓練等において、消防署・消防団・地域の皆様の協力の下、防災ジュニアリーダーとして防災に関わる知識や実践力を育てています。

被災地で学んだ教訓・決意

平成29年8月に各中学校から防災部員代表の男女各1名が金石市等の被災地を訪問しました。過去2年の訪問を踏まえ、被災地の復興の過程を見聞きするとともに、金石市立金石東中学校の生徒さんと交流しました。



▲永久水利施設を活用した地域の訓練に参加



▲交流に参加した金石市立金石東中学校の皆さんと

あらかわ環境・未来体験学習 あらかわりサイクルセンター・ゆいの森あらかわ

小学4年生を対象にした「あらかわ環境・未来体験学習」では、社会科と理科の学習を兼ねて、あらかわりサイクルセンターとゆいの森あらかわを訪問します。

あらかわりサイクルセンター

リサイクルの処理過程等を見学することで、何がどのようにリサイクルされているのかを学びます。また、リサイクルされたピンを利用する工作を行うことで、リサイクルの活用法を実体験を通して学ぶことができます。

ゆいの森あらかわ

ゆいの森ホールでは、スクリーンに繰り広げられる映像を通して、夏の大三角を中心に星の明るさや色について学習します。また、さまざまな体験キットを活用して、楽しく学習ができます。



▲星空学習の様子(ゆいの森あらかわ)

ゆいの森あらかわで星が見られるなんて～

英語教育の充実

小・中学校ワールドスクール/文部科学省「外国語教育強化地域拠点事業」

小学校ワールドスクール

小学6年生の希望者を対象に、夏休み期間中の5日間、清里高原少年自然の家で行いました。参加した児童は、外国人指導員と会話を重ねることで、基本的な英会話を身に付け、「英語を使って話すことに自信がついた」「英語が苦手だったけど、逆にもっと話したくなった」と、英語を使って伝えることの楽しさや、友だちと協力することのすばらしさを学びました。

中学校ワールドスクール

中学2・3年生の希望者を対象に夏休み期間中の4日間、秋田市の協力の下、国際教養大学の留学生や大学院生から英語を学びました。参加した生徒は「英語での人との接し方、話し方がよく分かった」と、相手に伝えるときのコツをつかみ、英語で話したいという意欲を高めました。

3校連携による学習到達目標設定

平成27～29年度の3年間、文部科学省「外国語教育強化地域拠点事業」の指定を受け、尾久第六小学校、第七中学校、都立飛鳥高等学校(北区)の3校を拠点校とし、「英語を用いて何ができるようになるか」という観点から、3校が連携して、小学校・中学校・高等学校の英語の学びが円滑に接続するよう研究に取り組みました。



▲小学校ワールドスクール



▲中学校ワールドスクール



▲小学校での英語の授業の様子

英語で自分の思いを伝えられるなんてステキ!

